

## ワークショップ調査実施概要

## 1. 調査の概要

下記に示す通り、市民ワークショップを実施し、調査結果の分析をふまえて計画へ反映する。

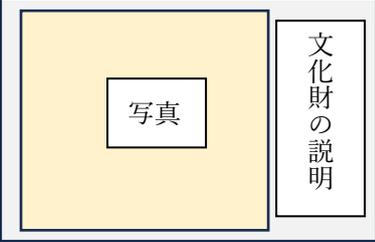
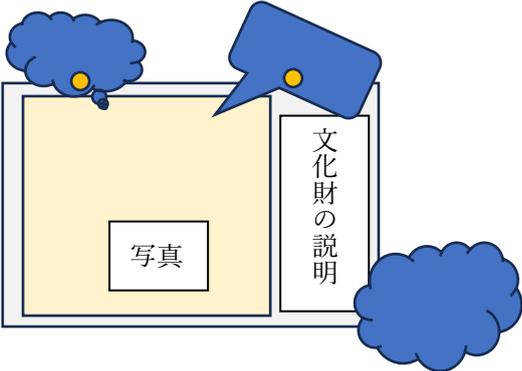
## 2. 各調査の実施概要

調査の狙い	① 市民に自身の生活の身近にある文化財(大切なモノ・コト/未来に残したいモノ・コト)を改めて認識してもらう ② 市民に文化財に主体的に関わる意識を醸成する ③ 市民が主体的に関わる博物館のイメージを共有する		
調査方法	ワークショップ形式		
設置場所	郷土資料室	12/1～(実施中)	スタッフ案内無し
	下保谷四丁目特別緑地保全地区 紅葉イベント	12/9 10時～16時	スタッフが常駐
	東伏見コミュニティーセンター	12/14 16時～19時	スタッフが常駐

### 3. ワークショップの実施内容(草案)

タイトル:西東京市の魅力 POP 作成

内容 :参加者に西東京市内の文化財を PR する POP を作成してもらう

事前準備	概要
ボードの設置場所の時期について事前に周知	HP や公式 line
文化財マップやアンケートの「未来に残したいもの」にあげられていた文化財の写真(A4 サイズ)を 10 種類程度用意 	
上記の文化財ボードに張り付けられる POP 用台紙、クリップを用意	事務局で完成例を何例か作成しておく
ワークショップ開始	
①参加者にお気に入りの文化財を選んでもらう	「大切にしたい/未来に残したいモノ・コト」が難しければ、「行ったことがある」「参加したことがある」カードを選んでもらうよう補助
②見本をお手本にしながら、POP にその文化財の PR (押しポイント/感想/思い)など言葉や絵を好きに書いてもらう。 (作成した POP は今後市の広報や郷土資料室で使用する可能性を伝える)	
③記入した POP を文化財ボードにクリップやテープで止めていくイメージ) 	・スタッフが常駐している場合はボードに張り付けてもらう。

4. ワークショップの実施様子  
○郷土資料室でのパネルの設置(12/2～)

